

- ・使用した猟銃が特定できる内容（許可番号、銃番号、替え銃身等）を記載する。
- ・使用した銃が特定できる略記号を使うとわかりやすい。

【実包管理帳簿記載例】

- ・散弾実包又はライフル実包の別を記載する。
- ・散弾実包であれば、散弾又は単弾の別を記載する。
- ・適合実包が複数あって書き切れない場合は、別紙に凡例を示して書き分けるとわかりやすい。

年	月	日	使用銃 (許可番号)	摘要	散弾実包・ライフル実包			散弾実包 ライフル実包			散弾実包・ライフル実包			合計残弾数 (個)
					適合実包 (1 2 番・単)			適合実包 (1 2 番・散)			適合実包 ()			
					受	払	残	受	払	残	受	払	残	
7	●	●		自宅保管 残弾						100				100
	●	●	●●●●123456	●●射撃場 狩猟期前 射撃練習					100					0
	●	●		●●銃砲店 単弾無許可譲受、散弾許可譲受	50		50	300		300				350
	●	●	●●●●123456	●●市内・狩猟 イノシシ1頭		5	45							345
	●	●	●●●●567890	●●射撃場 射撃練習					200	100				145
	●	●	●●●●123456	●●町内・狩猟 シカ2頭、イノシシ1頭		7	38							138
	●	●	●●●●567890	●●射撃場 ○○射撃大会出場、合計点▲▲点						100				38
	●	●		●●銃砲店 許可譲受				200		200				238
	●	●	●●●●567890	●●射撃場 射撃練習					100	100				138
	●	●	●●●●123456	●●市内・狩猟 シカ1頭		5	33							133
	●	●	●●●●567890	●●射撃場 射撃練習					100					33

実包の使用場所等を記載する。